

2024年度
賢明学院高等学校
入学試験

2024. 2. 10実施

国 語
(50 分)

- ・答えはすべて解答用紙に記入すること。
- ・字数制限があるすべての設問において、句読点など文章記号は字数にふくめます。
- ・問題文は、設問の都合上、一部省略・表記を改めたところがあります。
- ・問題用紙・解答用紙ともに受験番号を記入すること。

受 験 番 号

【一】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

人類にもっとも身近で、もっとも愛されてきた天体。

太陽という存在を別にすれば、ほとんどの人は、それは月だというでしょう。

夜空の主役であり、約二九・五日という周期で満ち欠けを繰り返す月は、大昔から人々のロマンをかき立ててきました。A、日本には^①かぐや姫伝説がありますが、中国にも嫦娥^{じやうが}という美しい仙人の話があり、彼女は今も月に住んでいるといわれています。またヨーロッパには、満月の晩に月狼すなわち狼男があらわれるという伝説があったことは有名です。

【一】

この月を天体望遠鏡でのぞくと、すぐに目につくものがあります。

それが^②「海」と呼ばれる暗い部分と、これ以外の「高地」と呼ばれる明るい部分です。

高地には、隕石や小天体などが衝突した跡であるクレーターが無数に存在しています。月が誕生したのは、地球と同じ四六億年ほど前と考えられています。高地には、それからまもなくの四〇億〜四五億年ほど前にできあがった地形がいまだに残っています。月には、火山活動がほとんどないことや、大気がきわめて薄く、フウ力作用がなかったことによって、大昔からの衝突跡がそのまま残っているのです。ここには、衝突によって碎けた大小の隕石なども無数にちらばっていて、荒れたごつごつした場所という印象です。

一方の海は、クレーターの少ない、どちらかといえばつるりとした地形の場所が多くを占めています。玄武岩^{げんぶがん}というやや黒っぽい岩石でできていることが多いため、暗く見えます。「雨の海」「晴れの海」「蒸気^{じやうき}の海」「豊かの海」といった名前の、たくさん海があります。

これらのうち、人類初の月面着陸を果たしたアポロ一号の着陸船が降りたのは、「静かの海」にあるクレーターの中でした。事前の調査で、この場所が着陸に適した平坦な地形だということが知られていたからです。

これらの海は、三〇億〜四〇億年ほど前にできたと考えられています。当時は、月でも活発な内部活動がおこなわれていて、さかんに溶岩が噴出していたといえます。その噴き出した溶岩が固まり、現在見られるような地形になったのです。

月に関心のある人はご存知かもしれませんが、月は地球にいつも同じ面を向けています。

この現象は、月の自転の周期と、月が地球のまわりをまわる周期が等しいために起こります。これは、キミヨウな現象だということで、月の裏には異星人の基地があり、それを隠すために異星人が操作している、などといったトンデモ説がささやかれたこともありました。

B この現象は、物理学で説明が可能です。月は、あとで紹介するように、誕生したときには、より地球に近い軌道をまわっていました。月は、今よりも強い重力によって、地球に引っ張られていたのです。

C 月は、後で説明する潮汐作用^{ちようしき}によって、地球の自転のエネルギーを吸い取るとともに、月の自転周期もだんだんと変化していき、ついには地球をまわる公転周期と一致してしまつたと考えられています。

これは、「^③」をたとえに説明されることの多い現象です。

③ がもっとも安定しているのは、頭に比べて重いお尻を、下（地球に近い方）にして立ったとき。これと同じように、月は重い側（表側）を地球に向けた状態になったときが安定します。そこで、その安定した状態になった末に、この状態が固定されたということです（『新しい太陽系』）。月が同じ面を見せながら地球をまわるようになったのは、月の誕生まもなくのことではなかったかと考えられています。

【二】

この理由は、はっきりとはわかっていませんが、一説には地球の重力と関係があるともいえます。月が形成される際、地球の強い重力の影響を受けた表側には、密度の高い物質が集まり、逆に密度の低い地殻は薄くなりました。そのため表側では、地中のマグマが薄い地殻をつき破って地表に噴き出しやすくなり、それらがつるりとした海を形成したというのです。

逆に裏側では、密度の低い物質が厚い地殻を形成したため、マグマの噴出が難しくなりました。その結果、海はほとんどできず、隕石の跡だらけの荒れた姿を見せることになったといえます。

じつは月は、地球から少しずつ遠ざかっています。NASAがアポロ計画を進める中で、一年に約三・八センチメートルという速さで月が離れつつあることがわかったのです。

【三】

これを逆に考えると、約四六億年前に地球や月が誕生したときには、お互いのキヨリはもっと近かったことになりました。意外かもしれませんが、月は非常に大きな衛星です。

【四】

その直径は、約三五〇〇キロメートル。地球の直径が約一万二八〇〇キロメートルですから、その四分の一強に当たります。質量は地球の八〇分の一ほど。主星のサイズに対してこれほど大きい衛星は、太陽系の中では冥王星の衛星カロンだけです。ただしカロンは、第二章でも紹介したように、そのあまりの大きさのため、衛星ではないともいわれるほどですから、月は文字通り最大級の衛星ということになります。

地球も、この大きな衛星によって、多大な影響を受けてきました。

④ 中でも大きな影響は、地球の自転速度が遅くなったことです。計算によると、地球や月が誕生した当時、地球の一日は約六時間だったと考えられています。地球は、今の四倍という高速で自転していたのです。朝が来て、昼になり、夜になって、また朝が来るまでが、たったの六時間。当時の一日は、それこそ目のまわるような速さで過ぎていったことでしょう。

このとき、地球が太陽のまわりをまわる周期は変わっていません。一日が六時間くらいですから、当時の一年は一五〇〇日ほどになります。その後、一日の長さは、月の重力の影響で徐々に長くなり、現在の約二四時間になりました。

ここでひとつ疑問が起きるかもしれません。月が地球の自転を遅くした？ これはどういうことでしょうか。

簡単にいえば、海が月に引つ張られたことで、地球の自転にブレーキがかかったのです。

海の潮の満ち引き（潮汐）は、月の大きな影響を受けています。太陽も影響を及ぼしますが、月の影響力はその倍以上です。海の水は、おもに月の強力な引力によって引つ張られ、盛り上がりがあります。この場所がちょうど海岸付近であれば、その海岸は満潮になります。

月は、地球のまわりをまわりながら、地球の海を引つ張り続けます。

すると、何が起きるでしょう。海の水と海底との間に摩擦が生じるのです。

それによって地球の自転には、月によるブレーキがかかりました。

このように、月は地球の潮汐作用を通じて地球の自転を遅くしたのです。

（眞淳平著／松井孝典監修『人類が生まれるための12の偶然』より）

注※ 第二章：太陽系について述べた章を指す。準惑星になった冥王星についての説明の中で、カロンの大きさが説明されていた。

問一 傍線部a～dのカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直しなさい。

問二 空欄A～Cに入れるのに最も適切なものを次のア～エの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。※同じ記号は使えないものとする。

ア そして イ 要するに ウ たとえば エ しかし

問三 傍線部①「かぐや姫」は、何の作品に登場しますか。次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 『竹取物語』 イ 『伊勢物語』 ウ 『宇治拾遺物語』 エ 『平家物語』

問四 次の段落を入れるのに最も適切な箇所を本文【I】～【IV】の中から一つ選び、記号で答えなさい。

では、普段見ることでできない月の裏側は、どうなっているのでしょうか。じつは、月の表面と裏面では、様子がかなり違ってきます。裏面には、海がほとんどなく、無数のクレーターからなる荒れた高地が広がっています。

問五 傍線部②「海」と呼ばれる暗い部分と、これ以外の「高地」と呼ばれる明るい部分です」とありますが、「海」「高地」について説明した次のア～エについて、正しい説明であれば「○」を、誤った説明であれば「×」を、それぞれ解答欄に記しなさい。

ア 「高地」は荒れたごつごつした場所という印象があるが、「海」は、どちらかといえばつるりとした地形の場所が多い。

イ 「高地」に、隕石や小天体などが衝突した跡であるクレーターが無数に存在する理由の一つに、火山活動の活発さがあげられる。

ウ 「海」は四〇億～四五億年前にでき、人類初の月面着陸を果たしたアポロ十一号の着陸船が降りたクレーターも「海」にあった。

エ 「海」が暗く見える理由は、「海」が、玄武岩や花こう岩というやや黒っぽい岩石でできていることが多いことによる。

問六 空欄③に入るものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア こけし イ 羽子板 ウ 起き上がり小法師 エ かるた

問七 傍線部④「中でも大きな影響は、地球の自転速度が遅くなったことです」について、次の【X】【Y】の問いにそれぞれ答えなさい。

【X】地球の自転速度が遅くなったことによって変化したことを、本文中の言葉を用いて、二十字程度で説明しなさい。

【Y】地球の自転速度は、なぜ遅くなったのですか。本文中の言葉を用いて、五十字程度で説明しなさい。

【二】 次のi 清澄の学校での場面とii その日の下校時の場面を読み、後の問いに答えなさい。

自己紹介で「手芸部に入るかもしれない」と言ったことで、周囲から浮いている高校一年生の松岡清澄は、結婚を控えた姉のためにウェディングドレスを手作りしたいと家族に申し出ている。

i

昼休みの教室には、机をくつついたいくつもの島ができていた。大陸と呼びたいような大所帯もある。中学の給食の時間とは違う。めいめい仲の良い相手と昼食をとにもすることができる。

入学式から半月以上過ぎた。僕は教卓の近くの、机みつぶんの島にいる。宮多を中心とする、五人組のグループだ。

宮多たちは、にやんこななんとかという僕の知らないスマホゲームの話で盛り上がっている。猫のキャラクターがたくさん出てきて戦うのだという。ゲームをする。シューカンがないから、意味がよくわからない。さっきからぜんぜん会話に入れない。課金とかログインボーナスという単語が飛び交っている。もう、相槌すら打てなくなってきた。

祖母の顔を思い出して、懸命に話についていこうとした。だって友だちがいないのは、よくないことなのだ。家族に心配されるようなことなのだから。

「なあ、松岡くんは」

宮多の話す声が、途中で聞こえなくなった。ふいに高杉くるみが視界に入ったから。

① 世界地図なら、砂粒ほどのサイズで描かれる孤島。そこに彼女はいた。箸でつまんだたまごやきを口に運んでいる。唇の両端がきゅっと持ち上がった。虚勢

を張るわけでもなく、おどおどするでもなく、たまごやきを味わっている。その顔を見た瞬間「ごめん」と口走っていた。

「え」

「ごめん。俺、見たい本あるから席に戻るわ」

② ぽかんと口を開ける宮多たちに、背を向ける。

図書室で借りた、世界各国の民族衣装に施された刺繍ししゅうを集めた本を開く。宮多たちがこの本に興味を示すとは到底思えない。I。ほんとうは『明治の刺繍絵画名品集』という大きな図録がよかった。残念ながらそちらは貸出禁止になっていたのだ。どのように糸を重ねてあるか、食い入るように眺める。ここはこうなってる、こうなってる。勝手に指が動く。

ふと顔を上げると、近くにいた数名がこっちを見ていた。男女混合の四人グループのうちのひとりが僕の手つきを、真似て、くすくす笑っている。

「なに？」

③ 自分で思っていたより、大きな声が出た。他の島の生徒たちが気づいて、こちらに注目しているのがわかった。宮多たちも。でももう、あとには引けない。

「なあ、なんか用？」

まさか話しかけられるとは思っていなかったのか、ひとりが「ぎょつ」としたように目を見開く。その隣の男子が「は？なんなん」と頬ほをひきつらせた。

「いや、なんなん？そっちこそ」

べつに。なあ。うん。彼らは「ももも」と言い合い、視線を逸らす。教室に、さざめきが戻る。遠くで交わされるひそやかなさやきや笑い声が、耳たぶを「ちり」と掠めた。

ii

ポケットの中でスマートフォンが鳴って、宮多からのメッセージが表示された。

「昼、なんか怒ってた？ もしや俺あかんこと言うた？」

違う。声に出して言いそうになる。宮多はなにも悪いことをしていない。ただ僕があの時、気づいてしまったただだ。自分が楽しいふりをしていることに。いつも、ひとりだった。

教科書を忘れた時に気軽に借りる相手がいなのは、心もとない。ひとりでは「ばつ」と弁当を食べるのは、わびしい。でもさびしさをこまかすために、④ 自分の好きなことを好きではないふりをするのは、⑤ 好きではないことを好きなふりをするのは、もっともつとさびしい。

好きなものを追い求めることは、楽しいと同時にとても苦しい。その苦しさに耐える覚悟が、僕にはあるのか。

文字を入力する指がひどく震える。

「ちやうねん。ほんまに本読みたかっただけ。刺繍の本」

ポケットからハンカチを取り出した。祖母にほめられた猫の刺繍を撮影して送った。すぐに既読の通知がつく。

「こうやって刺繍するのが趣味で、ゲームとかほんまはぜんぜん興味なくて、自分の席に戻りたかった。ごめん」

ポケットにスマートフォンをつこんだ。数歩歩いたところで、またスマートフォンが鳴った。

「え、めっちゃうまいやん。松岡くんすごいな」

そのメッセージを、何度も繰り返し読んだ。

わかってもらえるわけがない。どうして勝手にそう思いこんでいたのだろう。

今まで出会ってきた人間が、みんなそうだったから。だとしても、宮多は彼らではないのに。

いつのまにか、また靴紐くつひもがほどけていた。しゃがんだ瞬間、川で魚が「はしゃん」と跳ねた。波紋が幾重にも広がる。太陽の光を受けた川の水面が風で波打つ。まぶしさに目の奥が痛くなって、じんわりと涙が滲む。

きらめくもの。揺らめくもの。目に見えていても、かたちのないものには触れられない。すくいつて保管することはできない。太陽が翳ればたちまち消え失せる。だからこそ美しいのだとわかっていても、願う。布の上で、あれを。サイゲンできたらしい。そうすれば指で触れて確かめられる。身にまとうことだって。そういうドレスをつくりたい。着てほしい。すべてのものを「無理」と遠ざける姉にこそ。きらめくもの。揺らめくもの。どうせ触れられないのだから、なんてあきらめる必要などない。無理なんかじゃないから、ぜったい。

どんな布を、どんなかたちに。サイダンして、どんな装飾を施せばいいのか。それを考えはじめたら、いてもたってもいられなくなる。

それから、明日。明日、学校に行ったら、宮多に例のじゃんこなんかというゲームのことを、教えてもらおう。好きじゃないものを好きなふりをする必要はない。でも僕はまだ宮多たちのことをよく知らない。知ろうともしていなかった。

⑥ 靴紐をきつく締め直して、歩く速度をはやめる。

問一 傍線部a dのカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直しなさい。

問二 傍線部①「世界地図なら、砂粒ほどのサイズで描かれる孤島」とは、高杉くるみのような状態をたとえているのか、三十文字以内で簡潔に説明しなさい。

問三 傍線部②「ばかんと口を開ける宮多たちに、背を向ける」とありますが、清澄がそのような行動をとったのは、なぜですか。iiの本文中の言葉を用いて、三十文字以内で説明しなさい。

問四 空欄Iには、清澄の心情を表す言葉が十三字で入ります。iiの本文中から探し、抜き出しなさい。

問五 傍線部③「自分で思っていたより、大きな声が出た」とありますが、その理由として最も当てはまるものを次のアエの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 相手に伝えたい気持ちが強かったから。 イ 余裕がなくイライラしていたから。

ウ 相手の様子に反感を持ったから。 エ 自分の状況を周囲にアピールしたかったから。

問六 傍線部II VIから、性質の異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。

問七 傍線部④「自分の好きなこと」・傍線部⑤「好きではないこと」とは、ここでは、何を指していますか。本文中からそれぞれ三字以内で抜き出しなさい。

問八 傍線部⑥「靴紐」が象徴しているものは、何ですか。次のアエの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 友情 イ 気持ち ウ 時間 エ 夢

【三】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

和邇部用光という筆筆の名手が、土佐の国から帰京する途中で海賊に襲われた。「もう殺されるに違いない」と覚悟した用光は、「最後に自分の筆筆の曲を聞かせよう」と海賊に申し出た、それに続く場面である。

※2 宗との大きな声にて、「※3 主たち、しばし待ち給へ。かくいふことなり。もの聞け」といひければ、船を押さへて、おのおのしづまりたるに、用光、今はかぎりとおぼえければ、涙を流して、めでたき音を吹き出でて、吹きすましたりけり。

をりからにや、その調べ、波の上にひびきて、中略海賊、静まりて、いふことなし。

よくよく聞きて、曲終わりにて、先の声にて、「君が船に心をかけて、寄せたりつれども、曲の声に涙落ちて、かたさりぬ」とて、漕ぎ去りぬ。

『十訓抄』より

注 ※1 筆筆 … 雅楽の管楽器。 ※2 宗と … 主だった者。中心となっている者。 ※3 主たち … お前たち。

問一 二重傍線部a「いふこと」b「しづまり」c「をりから」の読みを、全てひらがなの現代仮名遣いで答えなさい。

問二 傍線部①「いひければ」②「涙を流して」の主語を次のアエの中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 用光 イ 宗と ウ 主たち エ 筆筆 オ 作者

問三 傍線部A「今はかぎりとおぼえければ」の現代語訳を（ ）に指定された字数の言葉を入れて完成させなさい。

「これで最後だと（ ）五字」

問四 傍線部③「めでたき」傍線部④「いふことなし」の意味を後のアエの中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

③「めでたき」 … ア 悲しい イ すばらしい ウ 大きい エ うるさい

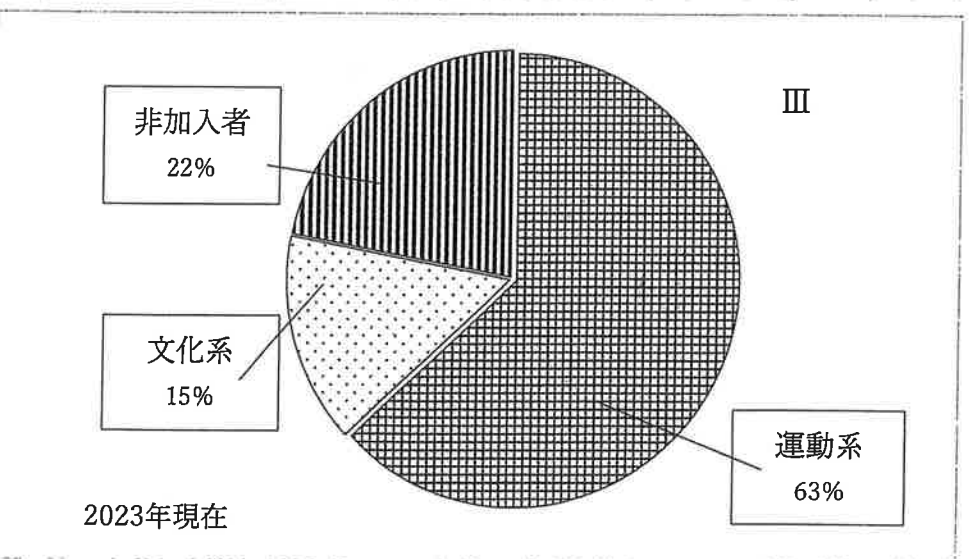
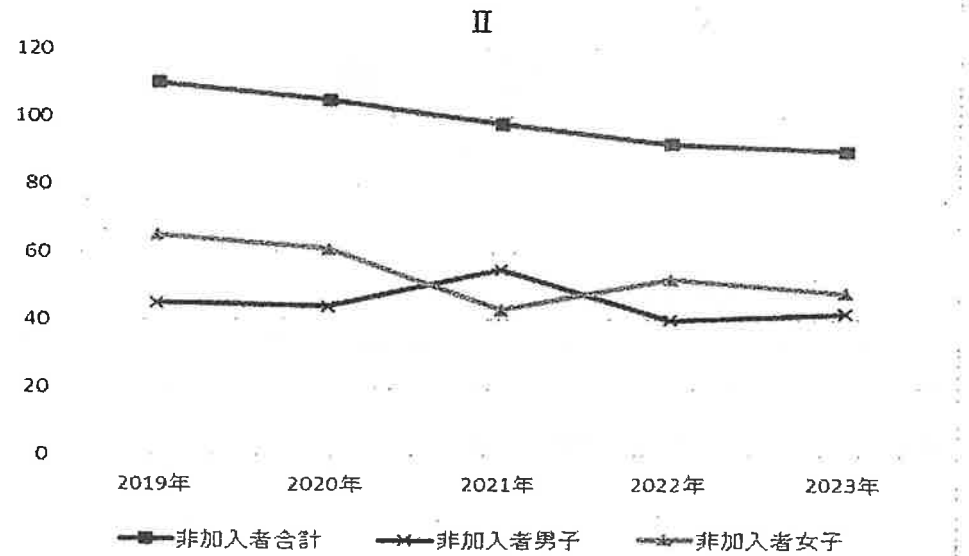
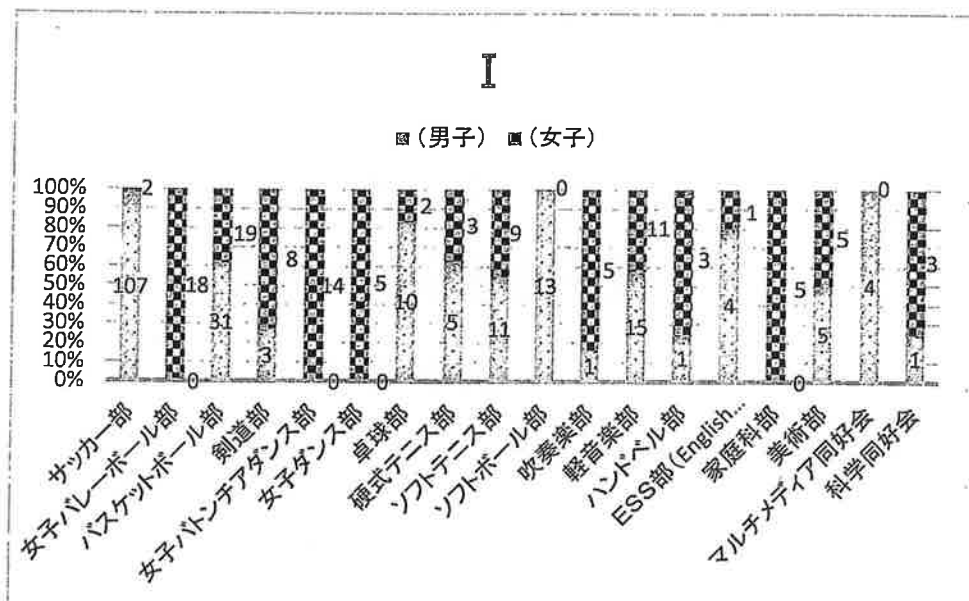
④「いふことなし」 … ア 良いことがなかった イ 文句はなかった ウ 一言も発しなかった エ 歌うことはなかった

問五 傍線部B「曲の声」と同じ意味の語を本文中より二字で抜き出しなさい。

問六 傍線部C「漕ぎ去りぬ」の理由を説明した次の文の（I）（II）にそれぞれ漢字二字を入れて完成させなさい。

用光が吹く筆筆の曲に（I）が（II）したから。

【四】 次のⅠ～Ⅲのグラフについて、後の問いに答えなさい。



問一 Ⅰ～Ⅲのグラフタイトルとして最も適切なものを次のア～エの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア 部活動参加傾向

イ 部活動非加入者推移

ウ 男女部員割合

エ 部活動部員数

問二 グラフを読み取ってまとめた内容の①～⑦の空欄に当てはまる適切な言葉をそれぞれ答えなさい。※数字は算用数字で答えなさい。

- ・部活動の非加入者数は年々(①)している。男女別でみると(②)年以外は女子の方が多い。
- ・現在の非加入者は全体の22%で、(③)割近くの生徒が何らかの部活動に加入しており、そのうち15%の生徒が(④)系(⑤)系の部活動に加入している。
- ・(⑥)部は女子限定ではないが、男子部員が少ない。また、男子限定ではないがマルチメディア同好会と(⑦)部は女子部員が少ない。
- ・男女の割合が均等なのは(⑧)部である。

【五】 次の各問いに答えなさい。

問一 次の①～⑩の傍線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 宇宙船がフジ帰還する。
- ② 試合に勝ってカンセイをあげる。
- ③ チミツな計画を立てる。
- ④ 彼の考えはダサン的である。
- ⑤ 考え方をヒカクする。
- ⑥ 演奏会にシヨウタイする。
- ⑦ このごろゲンカク症状がある。
- ⑧ 物のダンペンを見て全体を当てる。
- ⑨ 人々のソンケイを集める。
- ⑩ 手術後のケイカはいいようだ。

問二 次の①～⑤の四字熟語の最も適切な意味を後のア～コの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 疾風迅雷 しつぷうじんらい
- ② 八方美人
- ③ 暗中模索
- ④ 有名無実
- ⑤ 針小棒大

- ア 自分のことは自分ですること
- ウ 一定の考えを持たず人の考えに賛成すること
- オ おだやかでかわりのないこと
- キ 前後に例がないと思われるほど珍しいこと
- ケ 名ばかりで実質がともなわないこと
- イ 誰にでも愛想よくすること
- エ 手がかりもなく探すこと
- カ ちよつとしたことで大げさないうこと
- ク 行動が素早く激しいこと
- コ ほんの少しの短い言葉